

「たかつの自然の賑わいづくり」事業の進捗状況について

「たかつ自然の賑わいづくり」事業のうち、児童向けの「たかつ生きもの探検隊」を9月24日（土）に実施しました。なお、「たかつ水と緑の探検隊」については、平成29年2月18日（土）の実施を予定しております。

1 たかつ生きもの探検隊の開催概要

(1) 日時

9月24日（土）10時00分～12時20分

(2) 会場

緑ヶ丘霊園

(3) 参加者

55人

内訳	「エコシティたかつ」推進委員	2人
	一般参加者（保護者18名含む）	40人
	事務局等	13人

(4) 内容

10時00分	緑ヶ丘霊園噴水広場集合・オリエンテーション
10時45分	生きもの採取・観察
12時00分	森の観察
12時20分	解散

(5) 講師

岸 由二 氏（慶應義塾大学名誉教授、鶴見川流域ネットワーク代表理事）
小林 範和 氏（鶴見川流域ネットワーク事務局長）

2 当日の様子

(1) オリエンテーション

- ・開会あいさつ（高梨副区長）
- ・高津区の地形と流域

岸先生が、緑ヶ丘霊園の立体模型を用いて、地形と流域の関係について解説をした。また、移動途中に小林事務局長が緑地について説明を行った。



(2) 生きものの採取・観察

虫採り網とケースを持って生きものを採取した。最後に各人が採取した生きものの数、種類等を確認し、多くの数や種類を採った人には大きな缶バッチを贈呈した。観察後は、採取した生きものを自然に戻した。



(3) 湧水・森の観察

連日の長雨の影響で谷戸の奥までは入れなかったが、昨年度の水と緑の探検隊で杭打ちをした水辺には、ヤブヤンマのヤゴやサワガニが生息していた。



(4) 質疑応答

質問 谷戸の中に丸太があったが、あれは何か。

回答 谷戸自体がほったらかしになっていて、台風などで木々が倒れてぐしゃぐしゃの状態であった。そこに植物のツルが絡まり、ジャングルのようにになっていた。この状態だと日当たりも悪く、作業をするにも危ないので、間伐して風通しや日当たりを良くした。そのときに伐った木を積んであった。

(5) アンケート結果

回答数 20組

集計結果

①年齢（または学年）

1年生	2
2年生	1
3年生	12
4年生	4
5年生	0
6年生	1

②性別

男	15
女	5

③お住まい

高津区	15
宮前区	2
多摩区	3

④このイベントを何で知りましたか

市政だより	0
ホームページ	0
学校からのチラシ	19
その他	0
未回答	1

⑤ イベントの内容について

	よかった	どちらともいえない	よくなかった
緑ヶ丘霊園の説明	18	2	0
生きもの採取・説明	20	0	0
谷戸での作業	13	7	0

⑥ 「エコシティたかつ」の取り組みについての理解

深まった	18
どちらともいえない	2
あまり深まらなかった	0

⑦ ご意見・ご感想

【子ども】

- ・いろいろな生き物を捕まえられて楽しかったです。
- ・水生昆虫の採取もしたかったです。カブトムシやクワガタも捕りたかったです。とても楽しかったです。
- ・来年も来たい。

【大人】

- ・生き物が大好きで、クワガタやカブトムシを探しに、この夏も来ていました。自分が長年住んでいる谷戸の地形の話や歴史が知れて、大人も楽しめました。
- ・説明の声が聞こえない時があったと子どもが言っていました。
- ・身近にたくさんの生き物がいることが分かって楽しかったです。
- ・子ども向けの説明がもっと欲しい（説明が難しかった）。
- ・子どもにも分かりやすく、楽しかったです。
- ・このようなイベントは、もっと回数や種類（多摩川など）あれば良い。
- ・谷戸に入れなかったのは残念ですが、家の近所にこんなに自然があることにビックリしました。とても勉強になったようです。
- ・生きもの採取の時間をもう少し長めにして欲しい。

No.	科名	種名
・昆虫類		
1	アオイトトンボ	オオアオイトトンボ
2	アメンボ	アメンボ
3	ウンカ	ウンカsp
4	オサムシ	ゴミムシsp
5		セアカヒラタゴミムシ
6	オンブバッタ	オンブバッタ
7	カマキリ	オオカマキリ
8		コカマキリ
9		ハラビロカマキリ
10	キリギリス	クビキリギリス
11		ホシササキリ
12	コオロギ	エンマコオロギ
13		ツツレサセコオロギ
14	コガネムシ	オオセンチコガネ
15		マメコガネ
16	ゴキブリ	モリチャバネゴキブリ
17	ゴミムシダマシ	ゴミムシダマシ
18	シジミチョウ	ツバメシジミ
19		ヤマトシジミ
20	シデムシ	オオヒラタシデムシ
21	シャクガ	シャクガsp
22	シロチョウ	モンキチョウ
23	スズメガ	スズメガsp(幼虫)
24	ゾウムシ	ゾウムシsp
25	タテハチョウ	ヒカゲチョウsp
26		ヒメジャノメ
27	ツクムシ	サトクダマキモドキ
28	トンボ	ナツアカネ
29	ノミバッタ	ノミバッタ
30	バッタ	ショウリョウバッタ
31		ショウリョウバッタモドキ
32		ツチイナゴ
33		ヒナバッタ
34	ハムシ	ウリハムシ
35	ヒシバッタ	ハラヒシバッタ
36	ヒバリモドキ	シバズ
37		マダラスズ
38	ミノガ	ミノガsp(幼虫)
39	ヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ
・甲殻類		
40	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ
・魚類		
42	コイ	モツゴ
43	カダヤシ	カダヤシ
・爬虫類		
44	カナヘビ	ニホンカナヘビ
・両生類		
45	アマガエル	ニホンアマガエル
・貝類		
46	サカマキガイ	サカマキガイ



14.オオセンチコガネ

廁の別称である雪隠(せっちん)からこの名前がつけられたとされている。地域により体色の差が大きい。



18.ツバメシジミ

後翅の先端部に燕尾状の突起があることからこの名がつけられたとされている。都市部でも見られる美しい普通種。



27.サトクダマキモドキ

「クダマキ」は、キリギリスの仲間のクツワムシの別称。体型がクツワムシに似ていることからこの名になったとされる。



31.ショウリョウバッタモドキ

東京都等では絶滅危惧Ⅱ類に指定されている昆虫。神奈川県でも数は多くない。昨年度に引き続き確認された。